

発行所

静岡県高等学校障害児学校教職員組合
静岡市葵区駿府町1-12
高教組新聞編集委員会
http://www.s-koukyouso.jp/
e-Mail info@s-koukyouso.jp
TEL (054) 254-6900
FAX (054) 254-0814
Facebook:「静岡高教組」で検索

第478号
2022年
6月24日

高教組しんぶんは組合費とカンパによって発行されており、全教職員に配布しています

あなたも高教組へ

2面 ・静岡県母親大会 小沢隆一講演会
・小中一貫校 牧之原市の場合



「評価は固定できるものではない」
「同一労働・同一賃金」「教師を増やせ」

人事評価結果・定年引上げについて 第1回労使協議会

6月17日に第1回労使協議会が行われ、昨年度の人事評価結果と定年引上げについて協議しました。人事評価結果

昨年2021年度前期後期の人事評価ではSは前期後期とも約650人で9%強、Aは約3割、Bは6割でした。
気になったのは、前後期ともSだった人が228人3.3%いたこと。「人材育成のための評価だが、その意図が十分に理解されず、役職をつけてしまっているのかもしれない」との説明でした。

さらに県教委は、3年間6回の評価がずっとBの人が18.8%いることも問題視し、「Bが続く人の中には自己評価の低い人もいる。目標設定についてのアドバイスと普段の丁寧な言葉かけを求めている」と。しかしそれだけでは、「がんばって実績をあげ

を補合う中で、自分には何ができるのかを問い、自分の不足に気づいて改善しようとする、それが教育の原則です。勤勉手当や昇給に反映させるようなことは、特に教育現場には弊害をもたらすだけです。
定年延長について
該当の人に対する情報提供・意思確認制度についての説明だけ。

今年度の県議会9月定例会に条例案を提出するに際しては、あまりに内容のない肩透かし提案でし

昨年6月の地公法改正では、次のようなことが示されています。
① 2022年に61歳に、2年ごとに引き上げて、2032年には65歳定年制開始。
② 管理監督職については、60歳以降は管理職以外の職につけることを原則とするが、公務運営に支障がある場合のみ1年単位で3年まで延長できることとする。
③ 本人の意向で短時間勤務の再任用も可とする。高齢者部分休業制度を導入する。
④ 給与は7割水準とするが、条例による、臨時的任用、任期付、非常勤、役職定年で公務の運営に著しい支障が生じる場合などは10割とするが、条例により対応する。

主張

「黄金の三年間」

現在の衆議院は自民・公明に、改憲に賛成の維新、国民を加えた議席数が、改憲発議に必要な3分の2(310議席)を上回っています。

参議院でも現状で3分の2(164議席)超を占める4党が、選挙後に再び3分の2以上を確保すれば、衆参両院で発議に向けた環境が整います。首相は、衆院を解散しなければ25

大砲かバターか 参議院選挙

「戦争の道」

に乘じて、「戦争の道」に突き進むとうとしています。これまでの「専守防衛」を投げ捨て、「敵基地攻撃能力(反撃能力)」を保有し、軍事費を「GDP比2%以上」にして、5兆円以

物価高騰の原因は

物価高騰が国民の生活を直撃しています。賃金が上がらず、年金が貧しく、教育費が高すぎるからです。消費税増税で家計と景気を

物価高騰の原因は

はありません。欧米諸国が金融緩和を見直すなかで、日本だけが、「アベノミクス」の「異次元の金融緩和」に固執していることが、異常円安をもたらし、物価上昇に拍車をかけています。

大軍拡・9条改憲が生活を破壊

私たちが教育予算の増額を要求しても、文科省や教育委員会は「財政的に困難」としか回答しません。その一方で、この大軍拡計画です。いったい財源はどうするのでしょうか。消費税の大増税か、社会保障や教育などの予算の大削減をもたらすことは明らかです。安倍元首相は「防衛費を国債でまかなう」と言い出しています。

軍事費2倍・9条改憲か、平和と暮らしを守るのか問われます。

未配置も問題ですが、根本的には生徒数と学級数によって教員配置数を決める教職員定数法の改善が急務。生徒減でも少人数学級にして教員数を求められます。
まず自分なりに、わからなければ同僚に聞き、困ったときは組合を頼ってほしい
青年部定期総会に参加して

5月22日、全教青年部の定期総会がオンラインで開催され、43組織の代表者による会議交流が行われました。
皆さんの情報を処理するだけでも大変、日々の業務をこなすだけで一杯、そこに加えてどの業種も若い人をどう育てるか「後継者問題」を抱えています。
コロナ禍3年目、元の日常に戻った部分変わった部分、いまだに戻らない部分に葛藤しているのは、どの職場も同じです。だからこそ、「若い人にICTは任せよう」「ペテランだからお願いしよう」「○○さん仕事早いから他もお願いしよう」といった分担だけでなく「全員で協力して向かう」という連帯の意識が、繋がりにくくなった今だからこそ必要だとい

「調べる誰かを頼る」といった自ら動く姿勢は持ちたいなど、今回の会議を受けて改めて強く感じました。
「たいへん」「しんどい」のはみんな同じ。そ

維持が増加すれば、多忙化は大幅に解消されるはず。定年延長をきっかけに、再任用、60歳以降を定数外にするなど、教員不足解消の早急な対応策が求められます。

静岡高教組では、3月から「都道府県教委」「校内の管理職」、そして「校内の職員との協力」と「一人一人が意識する」を大事だと思っています。
静岡高教組では、3月から「都道府県教委」「校内の管理職」、そして「校内の職員との協力」と「一人一人が意識する」を大事だと思っています。

静岡高教組では、3月から「都道府県教委」「校内の管理職」、そして「校内の職員との協力」と「一人一人が意識する」を大事だと思っています。

静岡高教組では、3月から「都道府県教委」「校内の管理職」、そして「校内の職員との協力」と「一人一人が意識する」を大事だと思っています。

静岡高教組では、3月から「都道府県教委」「校内の管理職」、そして「校内の職員との協力」と「一人一人が意識する」を大事だと思っています。

静岡高教組では、3月から「都道府県教委」「校内の管理職」、そして「校内の職員との協力」と「一人一人が意識する」を大事だと思っています。

静岡高教組では、3月から「都道府県教委」「校内の管理職」、そして「校内の職員との協力」と「一人一人が意識する」を大事だと思っています。

視座

働きやすい職場に必要なもの一つ、心理的安全性。これなくして、不祥事根絶などあり得ないでしょう。では、心理的安全性のために何が必要なのか、高教組の友人と語りあったんです

まず第一にフラットな人間関係。マウンティングのない職場、何でも言いあえる関係▼次にフォローしあうチーム。ミスを指摘しあう

職場は息苦しいものです。人間誰しもミスはするもの。ミスしても助けを求め、誰かがミスしたら助ける、これはチームの基礎

チームのメンバーそれぞれは共通の目標を持ちつつもフリーに動ける自己裁量権は必要です▼どうやら県はPDCA計画実行チェック改善がお好きなようですが、そもそもこれは工場でも生産するための理論。一定の環境が前提条件。現場は日々変化しているし、人類は未だかつて完璧な計画を立てたことなどないんです。方向性をざっくり決めたら、現状を常に観察して、軌道修正しながら、フレキシブルに進んでいくしかないのです

フレキシブルな同僚は、もちろん職場以外でもフレンドは必要。リフレキシユできるだけでなく、多面的な視野も得られます▼さて、この逆を想像してみてください。常に上から命令されフォローもなく、ミスを恐れ、仕事の手順は自分で決められず、年度初めの計画は変更不可。そして、フレンドもなし。それはそれは恐ろしい光景。そういえば、フラット、フォロー、フリー、フレキシブル、すべてフレンド、すべてFで始まる。この五つのF、広がるといいなあ。これを共に考えてくれた高教組のフレンドに感謝!

静岡高教組では、3月から「都道府県教委」「校内の管理職」、そして「校内の職員との協力」と「一人一人が意識する」を大事だと思っています。

コンパス2022～みんなで教員合格をめざす学習交流会～
国探講座 X 準備講座
第1回:3/12(土) 第2回:4/10(日)
第3回:5/14(土) 第4回:6/12(日)
第5回:6/26(日) 第6回:7/24(日)
参加費 500円/回
場所 静岡東教育会館
時間 13:30~16:30



第59回 静岡県母親大会 in 伊東 分科会

「憲法を守り生かして真の平和を！」 平和憲法のもつ力 敵基地攻撃能力は本当に必要？

小澤 隆一さん (憲法学者・東京慈恵会医科大学教授)

5月22日に静岡県母親大会分科会が行われ、第4分科会で小澤隆一さんが講演を行いました。安保関連法案について「歯止めのない集団的自衛権の行使につながるのではないか」と違憲性を指摘し、廃案を要求。菅元首相が学術会議任命を拒否した6人のうちの一人です。

「2006年まで静岡大学で憲法を自ら学ぶと同時に学生に伝え、市民と共に考え行動する場を共にしてきました。昔なじみの方がたくさんいるので、きょうは張り切ってお話しします」と講演を始めました。

「ロシアによるウクライナ侵略は、国際紛争の平和的解決、武力による威嚇と行使の禁止を加盟国に義務付けている国連憲章違反です。二度の世界大戦の「言語に絶する悲劇を人類に与えた戦争の惨害」から、戦後、不十分な点を克服するために国連憲章をつくり、「武力によ

場合は敵基地を攻撃することも自衛の範囲」としたり、「自衛のためなら核兵器の保有も可能」などと答弁。今では巡航ミサイル、ステルス戦闘機、「いずも」型護衛艦の空母化などをなし崩し的に進め、沖縄南西諸島に自衛隊を配備し、アメリカの対中政策に加担しようとしています。

核廃絶が喫緊の課題

ロシアの侵略で核兵器が抑止力になるという理屈の破綻が明らかになりました。核使用の可能性が威嚇の有効な手段となるなど、もつてのほかです。抑止論も同じ威嚇、喝です。核廃絶が急務の課題であることが明確になりました。日本政府も核抑止力論にしがみつ

侵略戦争やめさせよう！ 核兵器使わせなさい！ 平和行進

東京夢の島から広島まで、今年も平和行進がスタートしました。5月19日、湯河原駅近くの公園で神奈川県から静岡県への引継ぎ、県内各地をまわり、31日、愛知県へ引き継ぎました。

小中一貫校 牧之原市の場合

牧之原市では市内にある8校の小学校と2校の中学校を廃止し、新たな場所に施設一体型小中一貫校を建設する(開校時1000人を超える)計画を進め、昨年度末に議会で議決されました。



この計画に納得できない市民がどれだけいるかも不明でしたが、昨年11月の県の「教育のつどい」で統廃合問題を扱う分科会に参加し、牧之原市の小学校教員と出合い、統廃合を語り合う場があったと紹介されました。

「考える会」は、3月11日に市教育長に公開質問状を提出しました。内容は、計画の内容が市民に届いていないこと、学校の自身(教育課程、通学方法など)が未定なこと、施設一体型小中一貫大規模校は子ども一人ひとりに目が届かず、小学校児童にストレスを与え、小1ギャップが起りかねず、遠距離通学となり子どもと親の負担が増え、学区の消失で地域衰退にもつながりかねないなど教育的視点からはデメリットが多いこと、市財政を圧迫することなどを訴えま

市は各地で説明会を実施し、のべ4000人(市人口4万5千人)に同意を得たと言っています。ですが、大方は町内会長以上の役職に就く人、市職員、教職員を動員しての説明会で、一般の人はその開催さえ知らされませんでした。また、市はこの統廃合を、「学校再

した。この会には、市議のつなぐりで、静岡県立大学の津富宏先生も参加くださり、様々なアドバイスをいただきました。津富先生はほとんどの打ち合わせやイベントにも出席していただき、大きな力となつていますが、交通費さえ受け取りません。

「考える会」は、3月11日に市教育長に公開質問状を提出しました。内容は、計画の内容が市民に届いていないこと、学校の自身(教育課程、通学方法など)が未定なこと、施設一体型小中一貫大規模校は子ども一人ひとりに目が届かず、小学校児童にストレスを与え、小1ギャップが起りかねず、遠距離通学となり子どもと親の負担が増え、学区の消失で地域衰退にもつながりかねないなど教育的視点からはデメリットが多いこと、市財政を圧迫することなどを訴えま

7月30日(土)14時牧之原史料館で山本由美さんと和光大学現代人間学部心理教育学科教授)を招き第2回学習会を開く予定です。ぜひ参加ください。



「日本」ってどんな国

本田由紀 ちくまプリマー新書

話題の本を読む11

日本国内の常識は欧州では非常識という認識は、ある程度の読書や報道の情報があれば、そんなに不思議なことではない。しかし、ネット上の情報のみを事実と受け止めて、それを本気で信じて、民主主義国と呼ばれる世界では、と、民主主義国

著者の本田由紀さんは、言わずと知れた教育社会学者。家族、ジェンダー、学校、友だち、経済仕事、政治、社会運動、「日本」と「自分」の章に分かれる。ここでは私が印象に残ったものを紹介したい。

「家族」の章では、男性の「家庭進出」の極端な停滞。男性の家事の時間がOECD中最下位の1日41分。私も大きなことは言えないのだが、本田さんは「あまりに偏った状態の国」と感じ、麻痺してくる」と書く。

「学校」の章では、OECDの調査で、教員が「生徒が学習に価値を見いだせる支援」と「生徒が批判的思考ができるよう支援する」ことができていないと応えた数値が極端に低いことが示される。日本の教員は形式的な授業をさせられているからだと私は思う。それはアクティブラーニングでさえ例外ではない。

「友だち」の章では、「他の国には見られない」現象が起こっている」と書く。「科学的リテラシー」が高い生徒ほど「他の生徒にからかわれた」比率が高いという。まじめで学習に積極的な子どもがいじめられるという日本の現象は極端なのだ。

「政治社会運動」の章では「なぜ日本の若者は政治意識が低いのか」について触れ、日本では学校における政治的自立性が必要であることが非常に強調されるが、ある調査ではある調査では教員が政治的立場を表明した方が政治的関心が高まる」と論じている。また、今の日本社会はデモや署名をしても結果が出ず、徒労感も強いが、そうしただけで満足している人たちが望んでいることだと気づけば、運動は続いていくはずと語ります。(Y)

